



ひかり

No.10

URL <http://www.kojimachi-e.ed.jp/>

平成28年1月29日
千代田区立麹町小学校
校長 山田 茂利

年の初めは暖かな日が続き、一転して1月中旬ごろから例年通りの寒さとなりましたが、暦の上では、はや立春を迎える頃となりました。それでも、寒さはもう少し続き、太平洋側の降雪は例年これからが多くなり、たまさか過日のような大雪に見舞われることもありますので注意が必要です。

このような時期（1・2月）、本校では寒さに負けない心身の健康作り、体力の向上を目指して、体力向上月間として、縄跳びや持久走等に取り組みます。1月、子供たちの様子を見ますと、校庭に日がさしていなくとも、また風が冷たくても、休み時間等にボールゲーム・持久走・鬼ごっこ・なわとび活動と元気よく校庭で遊んでいます。“豊かな心”“健やかな体（健康・体力）”はこのような遊びやスポーツなどを通して育まれるのだと思います。

さて、話は変わりますが、冒頭でお話ししましたように今後心配される大雪等による子供たちの安全確保については、4月開催の保護者会全体会で配布しご説明した資料に基づき対応いたしますので、ご協力をお願いいたします。

そのことに関して、過日、区教育委員会から「千代田区立学校・園の気象状況による臨時休校の対応について」連絡がありました。（次にその概要をお知らせします。なお、詳細は3月の学校便りでお知らせします。）

平成28年4月1日から本区において、区教育委員会は、前日以前に、気象状況により幼児・児童・生徒の登下校の安全確保に支障をきたし交通機関の混乱等が予想される場合は、区立全学校・園に休校等の指示をします。

つきましては、4月正式実施前から必要に応じてこの休校の措置をとるとのことですので、その際、このことを優先いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、学校安全はこのような気象状況による安全確保の他に、「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3つの領域の中で安全教育を進めています。そこで、本号ではこのことに関連したお話をします。

私がこの時期、特に「災害安全」災害教訓について考えるようになって20年が経ちます。阪神・淡路大震災から21年、東日本大震災からまもなく5年が経とうとしています。

今、子供たちに付けさせたい力は「危険を予測し回避する能力と他者や社会の安全に貢献できる資質や能力」です。つまり、子供たちには（身の回りにある危険から守られる立場にありますが）これからの時代は守られるべき対象にとどまらず、生涯にわたって自らの安全を確保できる力を身に付け、さらに他者や地域社会の安全を意識して活動することが求められているということです。そして、本校でも子供たちがこの力を身に付けられるよう安全教育を進めています。

もちろんこのねらいは2つの大震災の教訓に基づくものであり、この他にも風化させてはいけないくさんの災害教訓があります。その中でここでは（お読みになった方も多いこととは思いますが）、東

日本大震災の2年後、平成25年2月10日毎日新聞に寄稿された元世界銀行副総裁の西水美恵子さんの「日本から学ぶ10のこと」について、そのほんの一部を紹介します。大震災の後、それほど時をおかず西水さんの元部下（外国の方）から転送されたメールの題と内容であり、このメールが世界やIMFはもとより世界中を駆け回っているという記事でした。その10の項目を次に抜粋します。

「①平静 (The Calm) : 悲痛に胸を打つ姿や、悲嘆に取り乱す姿など、見当たらない。悲しみそのものが気高い。 ②威厳 (The Dignity) : 水や食料を得るためにあるのは、秩序正しい行列のみ。乱暴な言葉や、無作法な動作など、ひとつとてない。 ③能力 (The Ability) : 例えば、驚くべき建築家たち。ビルは揺れたが、崩れなかった。 ④品格 (The Grace) : 人々は、皆が何かを買えるようにと、自分に必要なものだけ買った。 ⑤秩序 (The Order) : 店舗では、略奪が起こらない。路上では、追い越し車も警笛を鳴らす車もない。思慮分別のみがある。 ⑥犠牲 (The Sacrifice) : 50人の作業員が、原子炉に海水をかけるためにとどまった。彼らに報いることなどできようか？ ⑦優しさ (The Tenderness) : レストランは、値を下げる。無警備のATM（現金自動受払機）は、そのまま。強者は弱者を介助する。⑧訓練 (The Training) : 人も子供も、すべての人が、何をすべきか知っていた。そして、すべきことをした。 ⑨報道 (The Media) : 崇高な節度を保つ速報。愚かな記者やキャスターなどいない。平静なルポのみがある。 ⑩良心 (The Conscience) : 停電になった時、レジに並んでいた人々は、品物を棚に戻して静かに店を出た。真のインスピレーションを感じる。日いずる国で起こっていることに。」

ここに挙げられた10の項目は、これからも学校生活、日々の教育活動の中で養っていかねばならない力です。そのためにも、未来への希望である子供たちの教育にたずさわる者（学校・家庭・地域等）が、共通の認識に立ち子供の指導・助言・支援に当たることができるようにご協力をお願いします。

避難訓練の様子

生活指導主任 住吉 香織

麴町小学校では、様々な災害とその発生状況（時間や場所、災害の程度など）を想定して、毎月避難訓練を実施しています。

今回はその訓練の様子をご紹介します。

子供たちは、避難に関する放送が入るとさっと活動をやめて話を聞き、また地震なら机の下にもぐるなど、すぐに必要な行動をとることで、まず身の安全を守っています。その後、避難場所へ移動するときには、「お〔おさない〕、か〔かけない〕、し〔しゃべらない〕、も〔もどらない〕」の約束を守り、速やかに避難しています。そして、全クラスが避難するまで声を出さずに待っています。その間、およそ5分から7分（災害の想定で前後します）、真剣に取り組む態度は大変に立派です。

12月は、いつ災害があっても適切な行動がとれるよう、日時を知らせずに訓練を実施しました。また、1・2月の訓練も予告なしで実施します。引き続き、その時その時の状況に応じた行動をとる「自分の身は自分で守る」という力が身に付くよう指導・支援していきます。

安全教育について

1月17日、3月11日は忘れてはならない日です。未曾有の被害をもたらした大震災。5年生は、東京都教育委員会作成の「3.11を忘れない」を活用した防災教育を進めています。また、全校でも毎月の予定でお知らせしているように、計画的に「安全指導」や「避難訓練」に取り組んでいます。今号では、この本校の安全教育についてご説明します。

安全に関する教育は「生活安全」「交通安全」「災害安全」の3つの領域で、生活科、体育科、特別活動の時間などに学習しています。主なねらいは、「防犯を含めた身の回りの安全、交通安全、防災など、自分や他の生命を尊重し、危険を予測し、事前に備えるなど日常生活を安全に保つために必要な事柄を理解し、進んできまりを守り、危険を回避し、安全に行動できる能力や態度を育成する。」ことです。

学習することは、学年の実態に即した日常生活に関する内容や、全校共通の内容（課題）を計画しています。その一つが避難訓練です。次にその年間計画（概要）を掲載します。

月	時間	災害想定	訓練のねらい・内容
4月	10:00～10:15 (2校時)	地震	避難訓練の基本「お・か・し・も」を確認し、安全な避難方法で避難ができるようにする。
5月	13:00～13:50 (給食後)	台風 (接近に伴う下校)	災害時における集団下校のグループを確認するとともに、集団での下校の仕方について知り下校できるようにする。
6月	10:45～11:30 (3校時)	調理室より出火 (二次避難)	学校で火災が起きた場合に、出火場所を避けて、安全かつ迅速に避難できるようにする。さらに、校庭への避難（待機）では危険がある場合の第2避難場所への避難の仕方を知り、安全かつ迅速に避難できるようにする。
7月	9:50～10:15 (2校時)	不審者侵入	不審者侵入など緊急事態発生時の避難方法を知り、速やかに避難できるようにする。
9月	10:00～11:30 (下校時間)	警戒宣言発令 (引き取り訓練)	警戒宣言が発令されたとき、安全かつ速やかに避難できるようにする。
10月	13:10～13:25 (昼休み)	出張所より出火 (休み時間)	休み時間に地震が起こった際の基本的な行動について確認し、安全な避難方法で避難ができるようにする。
11月	12:53～13:08 (給食)	地震 (給食中)	給食中の地震発生時、これまでの訓練を生かして、放送をよく聞き、安全に避難できるようにする。
12月	9:50～10:15 (2校時)	調理室より出火 【予告なし】	これまでの訓練を生かして、放送をよく聞き、安全に避難できるようにする。
1月	10:34～10:50 (中休み)	地震・出火 【予告なし】	これまでの訓練を生かして、放送をよく聞き、安全に避難できるようにする。また、地震後、体育館への安全に避難できるようにする。
2月	(登校時)	地震 【予告なし】	登校時間に災害発生という想定で、これまでの訓練を生かし臨機応変に安全に避難できるようにする。
3月	(休憩時)	地震	放送機器が使用できない災害時、基本的な行動を活用し、臨機応変に安全に避難できるようにする。／大震災から学ぶ。

※各ご家庭でも引き続き安全に関する指導をお願いします。

※学校では東日本大震災で大きな被害を受けた各地域の復興を願い、私たちにできる節電・節水、リサイクルなどを続けていきます。

2年生 現在進化中！！

2年担任 鈴木 和子、海老名文恵、齊藤 直

本校で最も児童数が多い2年生。賑やかで元気いっぱいの90人。最近、様子が変わってきました。先生や友達の話の聞き方が上手になるなど、みんな着実にレベルアップして、3年生に近づいているようです。どのような3年生になるか、今からとても楽しみです。

さて、2年生は1月15日に、生活科の学習で、東京メトロ半蔵門駅へ見学に行きました。一人ひとりが様々なことを見つけました。(次に子供たちの感想をいくつか紹介します。)

- ・案内板に日本語で文字が書いてありました。また、英語と中国語と韓国語も書いてあって、外国の人に親切なところが、すてきだなと思いました。
- ・駅の通路には、植物が置いてあって、さわやかな気持ちになりました。
- ・券売機の中には、たくさんの機械がありました。切符の紙が、最初はぐるぐる巻きの紙でできているところにびっくりしました。



【麹町小学校ホームページ「学校・園日記」】1月15日（金）「2年生の校外学習の様子」から

お知らせ

「教育相談リーフレット」の配布について

東京都教育委員会から「教育相談リーフレット」の配布について、次のような依頼がありました。

「東京都教育委員会では、冬季休業明けの時期に、児童・生徒や保護者に対し、学校以外の健全育成に関わる相談機関について情報提供することで、児童・生徒からの悩みを一層きめ細かく受け止めることができ、安心して相談できる体制があることを、改めて周知することが必要であると考え、別紙資料を作成しました。つきましては、全児童に配布ください。」

この依頼を受け、学校では2月の「なかよし月間（麹町小学校思いやり月間）」にあわせて、各担任から子供たちに、いじめ問題や困ったときの相談先について説明し配布いたします。